

平成 23 年度事業計画

学育事業部

事業部長； 岩岡光太郎

【事業部使命】

『自分らしい生き方を見つけることのできる居場所の創造』

～場所づくり (stage)・時づくり (chance)・人づくり (link)～

複雑混沌とした現代の社会。急速な時代の変化や価値観の違いに戸惑い、社会全体がどこか言い知れぬ不安感を抱いている…そんな風潮や時勢の中、将来への明るい展望を見い出せずにいる人々も年々増えてきているように思われます。とりわけ、未来を担う子どもたちに現代社会が与える影響は少なくなく、本来子どもたちが、会得し身に付けるべきこと、本来与えられるべき場所や体験や関わりが減っていることを実感せずにはおれません。

そんな中、私たち学育事業部は、その「足りなくなってきた様々なもの」を放課後の時間を使って補い、新たに再生し創造しようと考えています。そして、この事業を通して、子どもたちが自分らしさや自分の存在意義を見つけ、未来への希望を抱けることを願い、その為のきっかけ作りとサポートをしていきます。また、子どもたちにも保護者にも安全と安心を実感できる空間と時間を提供したいと思います。サブタイトルにある3つの言葉(コンセプト)はそのための合言葉であり、成功へ導く為のキーワードです。様々なニーズや様々な個性に合わせてながら、私たちが創り上げていきたい世界を目指します。「ただ遊びや学習をする場所や物を与えてそれを見張る」のではなく、様々な出会いや体験を通して、彼らの活躍や社会性・心の成長を見守り、育みたいと考えています。

“居させられる場所から居たくなる場所、そして輝ける場所へ”それが私たちの目標です。

【事業部戦略 2011】

『3つの使命を基軸にした事業部運営と、ひまわりブランドの構築 (1st step)』

～①職員のモチベーション向上運動 ②ヒカリモノを生み出す為の共有素材の選別と収集～

今年度、このテーマを掲げたのは、今年度の実践と成果と反省点を踏まえ、使命を実現するためには、事業部としてステップを踏んでいく必要があると感じたからです。もちろん、各現場の課題解決の為に戦略を立てるわけではありませんが、現状の認識と理念・理想を融合していかなければ「価値や思想の共有」はできません。場所や環境や規模や形態がまちまちで職員のスキルや考えも様々な中で、事業部が一つのチームとして正常に動き出すためには、まずは職員同士が互いを認め合い、理解を深め合い、仕事や仲間や会社に愛着や誇りを持つことが必要不可欠であると考えます。そして、何を事業部全体の財産・ブランドとして統一して取り組み、何を個性として独自性を引き出していくか、その仕分け作業をしようと思います。言うなれば“何の為にそれをするのか”という「価値の定義化」とも言えます。そのための方法としてグループ理念の中にもある「対話」を重視し、職員皆が理解し、納得した上で進めていきたいと考えています。